

山陽染工

クラウドファンディング第4弾 テレワーク向け快適シャツ開発

「段落ち抜染」で画面映えも

染色整理業の山陽染工(株) (福山市一文字町6-1、松本壮一郎社長、電084・953・2828) はこのほど、テレワークに対応したこだわりの快適シャツを開発。国内最大級のクラウドファンディングMake a ke (IIマクアケ) を利用して売り出した。先着優先で、20~10%の割引価格で購入できる。期間は8月15日(土)まで。一般販売は10月頃からの予定。

コロナ禍の影響で、テレ

脳卒中・頭痛・めまい24時間対応
●脳ドックは専門病院で受けましょう。
●人間ドック・睡眠ドックで健康ライフをサポートします。
脳神経センター大田記念病院
☎084・931・8650
http://www.shouwa.or.jp
福山市沖野上町3-6-28

ワーク型に切り替える企業も多くなってきたと同時に、画面に映る場合と日常との公私を分ける上着がほ



①プルオーバーと③ペイズリー



②オーソドックスタイルと裏面

目録金額は30万円だが、目録金額の達成に関わらず、プロジェクト終了日までに支払いを完了した時点で応援購入が成立する。

しいというニーズが高まっている。そこで同社は、おしゃれで画面映えがしつづ、部屋着にも使える快適性を兼ね備えた「極上快適シャツ」を提案した。

福山産デニムに、「アウトラスト②」という体感温度調節素材(人が快適に感じる温度を保とうとする機能素材)を合わせた特殊な生地を使用し、①ネクタイをゆったりプルオーバーデニムシャツ、②機能性を備えたオーソドックスなデニムシャツ、③オーソドックスなデニムシャツのペイズリー柄バージョン、の3アイテムを用意したII写真上・下。サイズはS・M・Lと3種類ある。

ネクタイのように見える柄やペイズリー柄は、独自に開発した「段落ち抜染(IIばっせん)」(濃淡を付けて色を抜いて柄を描く技法)を活用。①はユニセックス仕様で、ポンチョ風の可愛いらしい装いにもなる。大きめのポケットにはタブレットが収納可。②③は袖裏から背中側にかけて、ポロシャツやスポーツウェアにも使われる、伸縮性があり

通気性の良い鹿の子編み素材を使い、体の熱を逃がす構造にした。縫製はいずれも、縫製技術に定評のあるヌーストリー(同市新涯町)が手掛け、福山のものづくりの技術を盛り込んだ。国内繊維産業の「キーイングダストリー」を目指し、同社のカジュアル加工と他社ファブリック及び技術とを組み合わせて新ブランドを創り出す「X S A N Y O (クロス・サンヨー)」構想の一端で、製品のストーリーを紹介できるクラウドファンディングを利用して広報と販売に注力する企画デニムシューズ、デニムジャケット&パンツ、刺し子&藍染めジャケットに続く第4弾になる。

近日中公開

的を絞って、単純明快

白黒冊子専門

コヤマ プリント

kigaruni-insatsu.com

印刷業始めて、かる〜く、100年越えました!!



ポーター (吉田カバン)



「針入魂 鞆のトップブランド」



宮本カバン店
☎084-923-2790

福山市今町2-8(本通り)
10:00~19:00 火曜定休
宮本カバン 検索

921-1998

有 限 公 社
佐藤不動産
福山市霞町
まなびの館ローズコム西隣